



サプライチェーンの裏側

世界のマグロ産業にはびこる人権侵害

SUPPLY CHAINED

GREENPEACE

2016年11月



目次

01

要約

02

はじめに

03

提案

04

結論

表紙

漁船で働くことを余儀なくされ、故国に帰る術もない21歳の労働者

© Ardiles Rante / Greenpeace

裏表紙

インドネシアのマルク諸島の港町アンボン。タイ漁船に乗る多くの男たちが過酷な労働を強いられている町の一つ。

© Ardiles Rante / Greenpeace

01

要約

「タイの水産業界のサプライチェーンが100%クリーンではない、と誰もが認めざるを得ない」

-Thirapong Chansiri (タイ・ユニオン・グループCEO)

タイ・ユニオン・グループ（以下、タイ・ユニオン）は世界中のメーカーや小売業者を取引先としているツナ缶世界最大手である。しかし、タイ・ユニオンは、人権侵害、海洋生物の大量廃棄、破壊的漁法による絶滅危惧種の殺生など、水産業界の闇の部分と関係があるとされてきた。今日のマグロ産業は環境破壊、人間の悲劇や貪欲に支配されている。問題は一企業にとどまるものではないが、タイ・ユニオンの事業は世界中に広がっていることから、水産業界にはびこる許されざる行為を断絶することにより、マグロ産業を変える影響力を持っている。

ここ1年、タイの漁船に乗っている弱者層の男たちに対する残虐な処遇を特集する一連のメディア報道が流れた。そのうち、タイ・ユニオンの名が挙げられている調査もあった。^{1/2} これらの報道では、人身売買や強制・拘束労働が、タイ・ユニオンといった世界の大企業に膨大な量の魚や原材料を供給している企業のビジネスモデルの一部となっていることが強調されている。最近、グリーンピースは人身売買、強制・拘束労働の被害者の聞き取りを含む調査を実施し、「タイの遠洋漁業船団で常態化している強制労働はタイ・ユニオンのツナ事業のサプライチェーンに存在する極めて深刻なリスクであり、メディアの厳しい追及に応じてタイ・ユニオンが行った断片的対策では御し切れないものである」ことを明らかにした。

タイ・ユニオンは、虐待に関係しているとみなされた仕入先を切り捨てる措置を講じるとともに、今年に入って新しい労働行動規範を採用しているが、タイ・ユニオンには「漁船での作業を含む水産物サプライチェーン全体で確実に搾取が行われないような措置を講じた」ことを顧客に立証する責任がある。^{3/4/5} この世界規模の巨大水産会社タイ・ユニオンのサプライチェーン浄化の取り組みは、人権問題の解決に向けて、ここ15カ月

にわたり同社が行ってきた主なコミットメントに見られるようなエビ養殖事業やタイの漁船団だけを重点的に扱ったものであってはならない。^{6/7}

間違いなく消費者は、「世界有数の有名ツナブランドは、労働者が公正に扱われ、環境に配慮した漁業慣行を経て店頭には並べられているものである」ことをますます求めるようになってきている。子会社や納入先企業を相手取った集団訴訟を起こして、その事実をタイ・ユニオンに突きつけ始めている例さえある。^{8/9} タイ・ユニオンのために天然魚を水揚げする船は、世界中の海の環境を破壊するばかりか、人間にも悲劇をもたらしている。サプライチェーンに深刻な人権問題を抱える水産会社はタイ・ユニオンだけではないが、状況を好転させ世界のマグロ産業および無数の海の男たちの人生を変えることができるのはタイ・ユニオン以外にない。



02

はじめに

安価な水産物に対する世界的需要が、
漁業の環境劣化と人権侵害の主な原因の一つである。

背景

世界の海（特に公海）は地球上で有数の無法地帯であり、日常的に環境犯罪や社会犯罪が罰せられないまま見過ごされている。¹¹ 特に近年、東南アジアを特集した複数の報道が注目を浴びてから、漁業界における労働者の搾取がますます世界的な関心事になりつつある。^{12/13/14}

漁業界の人権侵害は世界中で起きているグローバルな問題であるとともに、違法・無報告・無規制（IUU）漁業など、別の形の犯罪活動に関係していることも多い問題である。^{15/16/17} 漁業と労働基準は規制が甘く取締が不備である。つまり、海は環境破壊の場、利益に走り、国際的に認められている人権基準の違反が日常的に行われる場となってしまっている。

動機

安価な水産物に対する世界的需要が、漁業の環境劣化と人権侵害の主な原因の一つである。世界のマグロ類の年間生産量は、主に欧州、北アメリカ、日本の消費者に支えられてこの60年で1100%以上増え、700万トン以上に達した。^{18/19/20} グリーンピースが先日公開した一連のビデオ証言で明らかなように、太平洋のマグロ船団（世界の需要の約70%を供給）の人権侵害は深刻であり、緊急に対応する必要がある。^{21/22} 世界の水産物の生産者、バイヤー、小売店が購買力を巧みに使えば、サプライチェーン全体の変化を促し、漁獲・加工・包装に携わる労働者の権利を守る厳しい基準を仕入先に厳守させることができる。



© Ardiles Rante / Greenpeace

2015年にインドネシア政府が外国船の入漁許可を凍結した際アンボン島（インドネシア）ハロンに停泊中のタイ漁船

疑惑

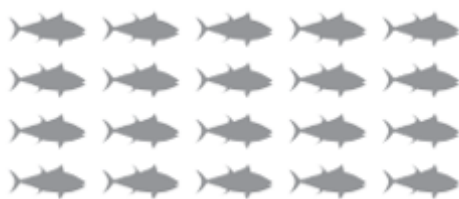
タイ・ユニオン・グループ（以下、タイ・ユニオン）は世界のマグロ供給量のほぼ5分の1を生産している世界第3位の大手水産会社であり、世界最大手のツナ缶のメーカーである。

^{23/24/25} タイ・ユニオンは、タイ産マグロ全体のおよそ40%を販売。毎秒ツナ缶約157缶相当をタイから輸出している。^{26/27} 今日、タイ・ユニオンは各種水産物を生産するとともに、天然魚の漁獲や加工から、缶や包材の製造、流通まで、自社ブランド、および自社以外のプライベートラベルの水産物生産のほぼすべてに関わる子会社や合名会社数十社を抱えている。タイ・ユニオンの事業は海から店頭まで広がり、タイ・ユニオンブランドは世界の主要ツナ市場を席捲している。タイ・ユニオンは「海洋生態系におけるの要となる役割」を担い、海洋への影響力はとてつもなく大きい。²⁸ 世界的大手生産者であり巨大企業であるタイ・ユニオンはサプライチェーン全体の労働条件について膨大な影響力を持つ。

2014 年
総収益

34 億 4000 万米ドル

マグロ生産容量

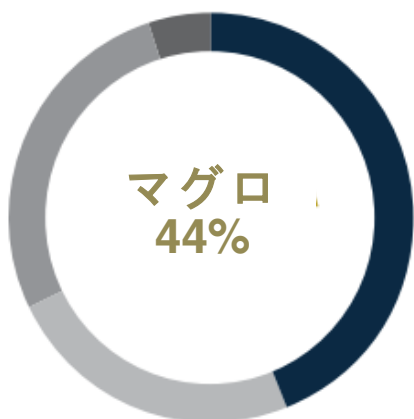


年間 6 億 1000 万トン

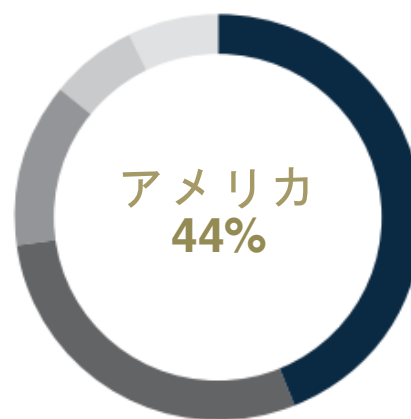
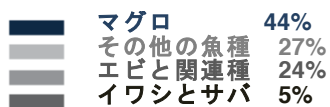
2014 年タイからのツナ缶輸出货量



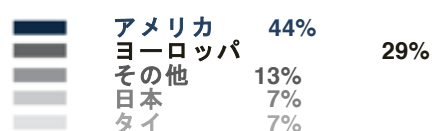
5 億 9547 万 9000 トン



2014 年魚種別売り上げ



2014 年国別売り上げ

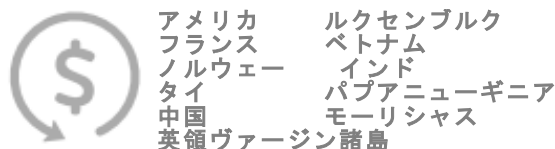


世界の労働者数
イ・ユニオン 3 万 5000 人



35 ブランド

企業や子会社が所在している国



は、世界で最もよく知られている水産物缶詰ブランドを所有しているが、ほとんどの消費者はこの親会社についてあまり知らない。例えばアメリカのチキンオブザシーや欧州のMWブランド（John West、Petit Navire、Hyacinthe Parmentier、Marebluといった良く知られた名前で流通）や中国のセンチュリ・ツナやタイのシーレクトはタイ・ユニオンのブランドである。この20年、タイ・ユニオンは事業の多角化を進め、少なくとも10社を買収。売上は3倍になり世界的に規模を広げた。³¹ 2014年12月、タイ・ユニオンは「バンプルビーフード社を15億米ドルで買収する」と発表した³²が、米国当局による独占禁止法の調査が続いてこの取引はまだ成立していない。^{32/33}

タイ・ユニオンのツナ缶ブランド ³⁴



CHICKEN OF THE SEA

PETIT NAVIRE

CENTURY TUNA

米国冷凍シーフード輸入会社最大手米国シーフード缶詰第3位ブランド

フランスのシーフード缶詰最大手ブランド

中国のシーフード缶詰最大手ブランド



JOHN WEST

MAREBLU

SEALECT

イギリス・アイルランド・オランダのシーフード缶詰最大手ブランド

イタリアのツナ缶第2位ブランド

タイのツナ缶最大手ブランド

犠牲者

水産食品業界で働く人々は様々な虐待に遇っている。東南アジアにおける調査では、移住者特に越境移住をする人々が、搾取や虐待を最も受けやすいことを示唆している。^{35/36} タイの水産食品業界は、人身売買、借金による拘束、児童労働、強制労働で国際的に悪名が高いが、これらを始めとする深刻な虐待以外にも労働者は様々な人権侵害や労働違反に日常的に苦しめられている。世界の関心、特にメディアの注目はエビのサプライチェーンに集中しがちだが、マグロのサプライチェーンでも重大な人権侵害と強制労働があることが調査からうかがえる。^{37/38}

加工工場では、魚介類を調理・包装し、私たちの消費する水産食品に価値を付加する。認可・未認可を問わず、タイの加工工場で行われている許されざる虐待には、賃金の未払い、過剰の料金請求、文書の没収、身体的虐待、強姦、監禁、借金による拘束、人身売買、児童労働などがある。^{39/40/41/42/43} 国際労働機関（ILO）が行ったある調査では、「加工工場の労働者のほぼ10人に1人が強制労働をさせられている」と報告されている。また国連機関は、「タイの主な加工拠点で聞き取り調査を行った労働者の7%が強制労働の経験があり、3分の1が人身売買されていた」ことを明らかにしている。^{44/45} 2015年に国際労働機関が行った調査では「タイの水産業界では未成年出稼ぎ労働者の約5人に1人が職場で負傷し、その人数は児童労働が行われている他の産業と比較して2倍以上多い」ことが明らかになった。⁴⁶ この調査の対象となった水産業界で働く児童の3分の1は学校にさえ行っていなかった。

タイの漁業界で働く労働者の状況はさらに深刻である。国際労働機関が行った2つの大規模調査は、「タイの船舶に乗船している漁師の約20%に人身売買や強制労働、拘束労働の兆候が見られる」ことを明らかにしている。^{47/48} また、このうちの1つの調査は、「調査対象の漁師の40%以上が恣意的に給料を減額された経験があり、17%が暴力で脅され、ほぼ10人に1人が逃亡未遂、激しい殴打、またはその両方を経験している」ことを明らかにした。人身売買された漁師数百人を対象として行われたさらに最近の調査では、「80%が『自由を感じることはない』と答え、3分の2以上が暴力や性的暴力を経験したことがあり、半数以上が、ブローカーが誰かに危害を加えるところを見たことがあり、ほぼ4分の1が強制拘禁や収監された経験がある」ことが明らかになった。⁴⁹ また、ほぼ6%が「漁船上での生産性を上げるためにメタンフェタミンなどの薬物を強制的に飲まされている」と報告していた。



© Ardiles Rante / Greenpeace

インドネシアのアンボン漁港にある仮設住宅のミャンマー出身の漁師。人身売買されたこれらの労働者の未来は不透明である。



©Ardiles Rante/ Greenpeace

インドネシア、マルク州アンボンに足留されたまま置き去りにされたミャンマー出身の元漁船労働者アウン・ナイン (Aung Naing)

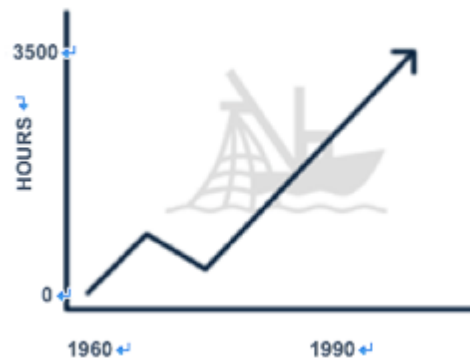
乱獲と人権侵害の関係

タイを見る限り、ここ50年の水産資源の急減、そして人件費や燃料費を始めとする漁船の運航費の高騰が業界の人身売買労働、強制労働、拘束労働が広まる原因だったようだ。⁵⁰ 漁船数があまりにも多かったことが主要因となり、タイ領海の水揚げ量が徐々に減り、漁船運航者には「もっと遠方へ、もっと深く」という圧力がかかっている。

今では、漁船は遠洋で漁をするようになり、漁の期間は伸び、持続不可能な漁法が用いられている。漁船運航者は、収入減とコスト増に伴い、乗組員を確保し人件費を抑えるために人身売買ネットワークに目を向けた。

タイ湾における四半世紀足らずの間に増加した漁業時間の割合

3,300% ⁵¹



タイ海域での漁業は 1987 年にピークを迎え、その総漁業時間は

2,400 万時間 ⁵²



1996 年から 2012 年までの、タイ海域における 1 時間あたりの総漁獲量の低下の割合

86% ⁵³

タイで水揚げされる海産魚のうち、タイの排他的経済水域（EEZ）の外で獲れた魚は、半分には達する。^{54/55} 国際労働機関が2013年に行った調査では、タイの排他的経済水域外で操業することの多い遠洋漁船の場合、「騙されて、または強制されて漁業の道に入った」という乗組員が近海漁船の5倍に上ることが明らかになった。⁵⁶ 人身売買した男性を遠洋漁船に乗船させることは今に始まったことではない。2002年以来、タイの行方不明者ホットライ

ンへの報告書は中年のタイ人男性が行方不明になることについて警鐘を鳴らし続けてきた。⁵⁷ こうした事例の一部は後日逃亡者らによって明るみに出た。人身売買され、インドネシアやマレーシアの水域で操業しているタイ人所有の漁船で強制労働させられた経験を逃亡者らが語ったのである。2008年から2009年にかけてタイの2つの市民団体が、タイの遠洋漁船で強制・拘束労働することになっている男性、またはタイの遠洋漁船の強制・拘束労働から逃げ出してきた男性およそ300人と接触した。

根本的に、タイの漁業に労働搾取が蔓延している原因は、規制の枠組みの不備や不十分な調査、そして沿岸国、旗国、寄港国によるモニタリングや統制、監査、取締制度が弱体であることにある。しかし、人権侵害はそれ以外の様々な要素から起きている。タイの漁業は構造的に未熟練労働者に依存している。それは、タイの漁業界が労働生産性の向上を目指した技術的解決策に投資しなかったこと、そして比較的発展が遅れている近隣諸国出身の安い移民労働者が溢れていたことによる。^{59/60} 同時に、漁船運航者は慢性の人員不足であり、タイ全国漁業協会（NFAT）は不足人数を最高5万人と推定している。⁶¹ これらの要因とタイの排他的経済水域の海洋資源の劣化から生じる経済的圧力が交錯し、タイの漁業に労働搾取や人身売買、強制・拘束労働が蔓延している。⁶²

タイの遠洋漁船の労働力として人身売買されてインドネシアに連れていかれる成年・未成年男子は、ミャンマーやカンボジア、ラオスからの移民やタイの開発の遅れた農村地域（特に東北部）出身者が多い。被害者は国境地帯や主要交通拠点でブローカーに捕まり、「陸上での良い仕事」という口車に乗って漁船で働く羽目になる。中にはブローカーの誘いに乗ってレストランやカラオケバーに行き、そこで薬物を投与され誘拐される例や、大幅に水増し請求された飲食や性的サービスの請求書を見せられ、その支払いのために働かざるを得ない例もある。⁶³ インドネシア水域に向けての出航を待っているときには、多くが鍵のかかった部屋や武装した警備のもとで強制的に拘禁され、逃亡を図った者は殴打されることになる。

人身売買では偽造船員手帳が使われる場合が多い。船員手帳は、漁船でタイの排他的経済水域を出入りする者に必要な公的書類である。⁶⁴ 2014年8月、タイ当局はバンコクにある違法印刷ネットワークの一端を一斉搜索した。その経営者は、「過去2年に偽造船員手帳を1冊たった4.60米ドル（61,695インドネシアルピア=163タイバーツ）で2,000冊買った男がいる」と証言している。偽造船員手帳の場合、物故者の氏名と漁師本人の写真を使い、例えば、カンボジア人やミャンマー人をタイ国籍に変えるのが通例である。「これらの偽造文書と関連入国審査書類が、漁師の出入国手続きを定めているタイ法で義務付けられている政府担当官の検査をどのように切り抜けるのか」については依然として不明である。⁶⁶

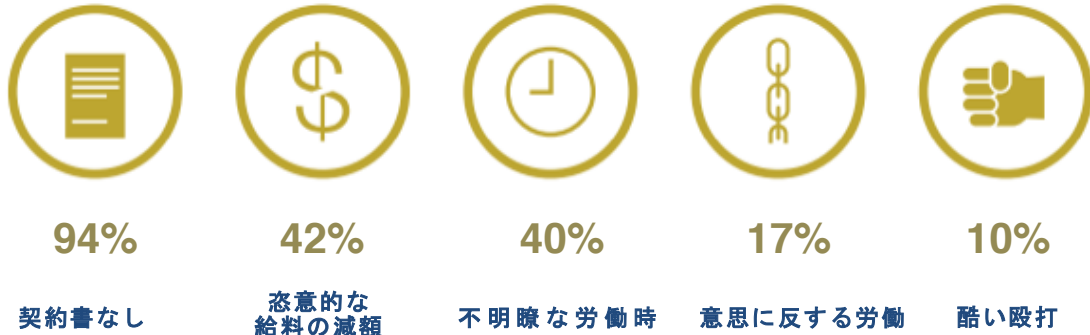
偽造書類を使った人身売買や強制・拘束労働の被害者は、下船と同時に事実上無国籍になりかねない。⁶⁷ 2008年、イスラム圏メディアのアルジャジーラは、タイのトロール船の労働搾取から逃げ、インドネシアのトゥアル島で不安定な暮らしを送っている数千人のミャンマー人のドキュメンタリーを伝えた。⁶⁸ 船長や漁船運航者は、言いなりにならない労働者を日常的にインドネシアの島々に置き去りにしている。残された労働者の中には最終的に地域社会に溶け込む者もいれば入国監査官に拘禁されてしまう者もいる。多くは漁船や港に働きに戻り、あざとい事業主にとって都合の良い、権利を奪われた労働力として繰り返し使われることになる。



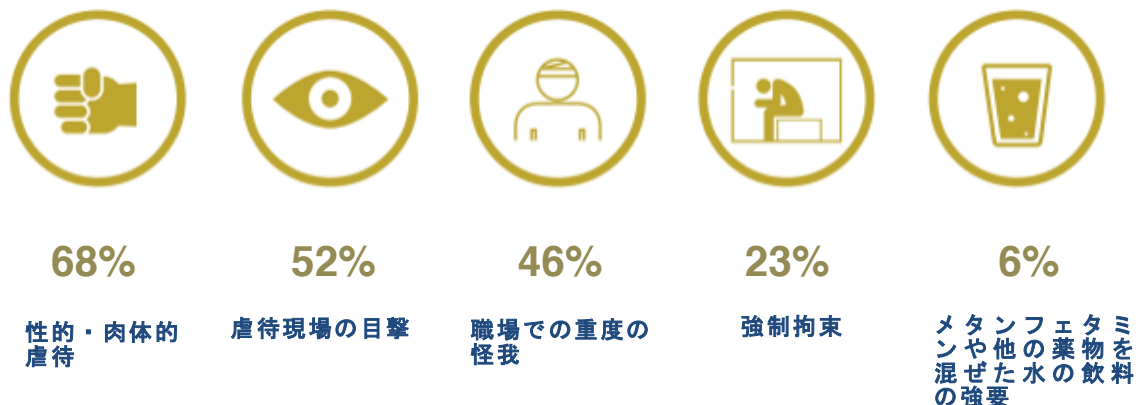
©Ardiles Rante / Greenpeace

2015年にインドネシア政府が外国船の入漁許可を凍結した際、アンボン島（インドネシア）ハロンに停泊中のタイ漁船

タイ漁船労働者とのインタビューで報告された事実⁶⁹



タイ漁船で働く人身売買の被害者とのインタビューで報告された事実⁷⁰



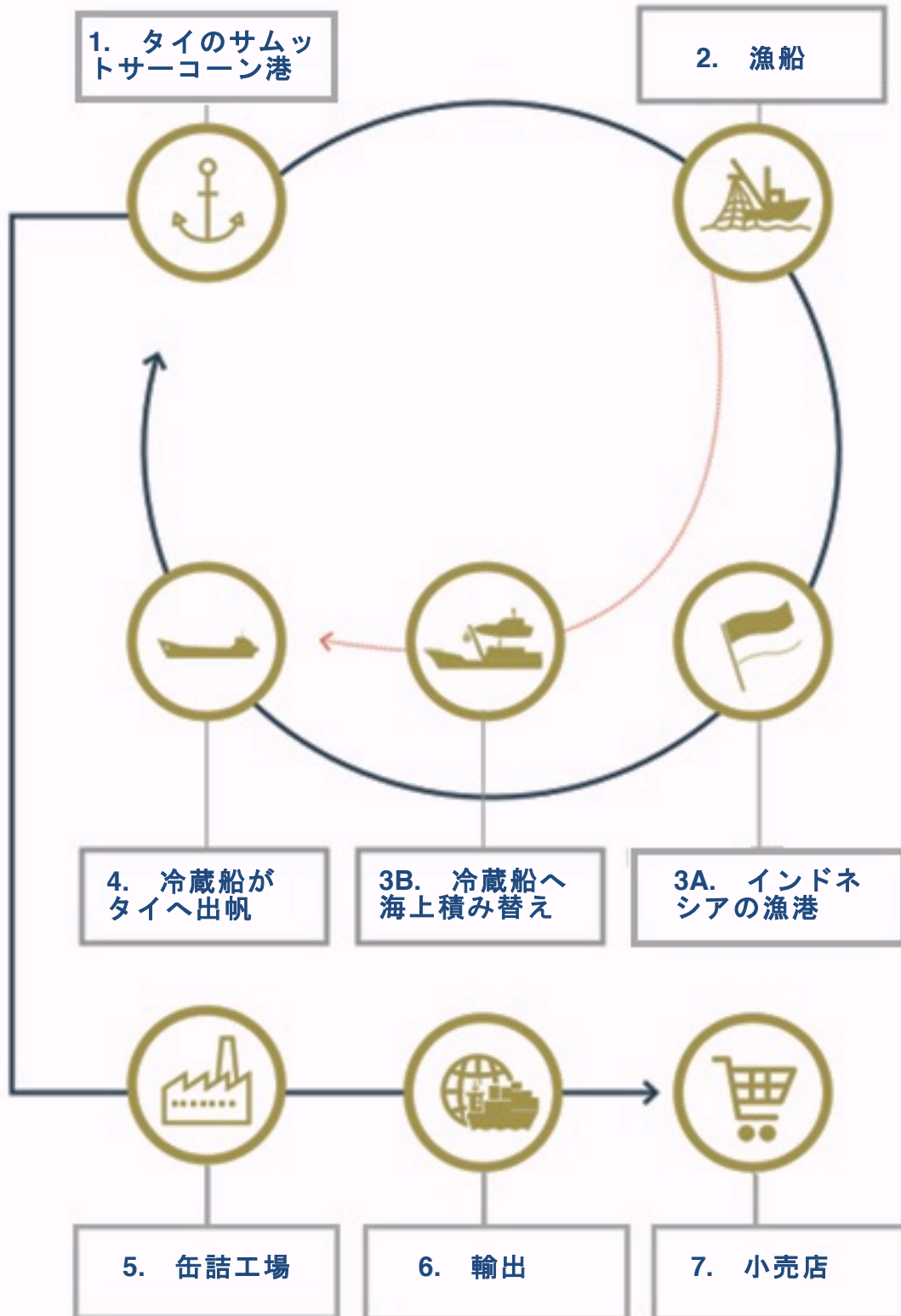
2014 年中頃、著名なタイ・メディア一団が行った調査で、人身売買され、アンボン（インドネシア）沖で操業する漁船に乗せられたタイ人男性数百人が発見された。⁷¹ それから数カ月、人身売買され、インドネシ亚马ルク州に広がるタイ漁船に乗せられ、借金による拘束や強制労働という最悪の条件で働くことになったミャンマー人、タイ人、カンボジア人、ラオス人の男性数千人の詳細が次々と明らかになった。被害者の証言は、身体的虐待、拷問、さらには殺人までも示唆するものだった。2015 年 3 月、AP 通信社から出された大々的レポートで国際社会の注目に火がついた。⁷² 2015 年 9 月現在、国際移住機関(IOM) は、ベンジナ島、アンボ島、トゥアル島において、過去にインドネシアのアラフラ海での操業許可を得ていた元タイ企業所有の刺し網船、トロール船 189 隻から救出された合計 1,033 人の支援を行っている。^{73/74}

AP通信社は、タイを拠点とするシルバーシーライン社が運航する冷蔵貨物船シルバーシーライン号の追跡調査を行った。そこに積まれていた魚は、強制労働によって獲られたものだったのだ。シルバーシーライン号がタイの主要水産食品拠点であるサムットサーコーン県に水揚げした際、県内全域の加工工場や冷凍倉庫へ運ばれた魚を追跡調査したのである。1台のトラックは、タイ・ユニオンの全額出資子会社であるタイ・ユニオン・マニュファクチャリング社に納入している Niwat 社に着いた。虐待に関連している海産魚がサプライチェーンに組み込まれていることに対する国際社会の厳しい目にさらされたタイ・ユニオンは即座に Niwat 社との取引停止を発表。⁷⁵ しかし、シルバーシーライン号、および（明らかになったインドネシアでの酷い虐待にもかかわらず）マルク州外で操業している漁船から転載された魚を運ぶシルバーシーライン社、シルバーシーリーファー社、その他タイ企業所有の各種冷蔵船から水揚げされた海産魚の調達を止める、という発表はタイ・ユニオンからはなかった。

東南アジアにおける人身売買と漁業運営



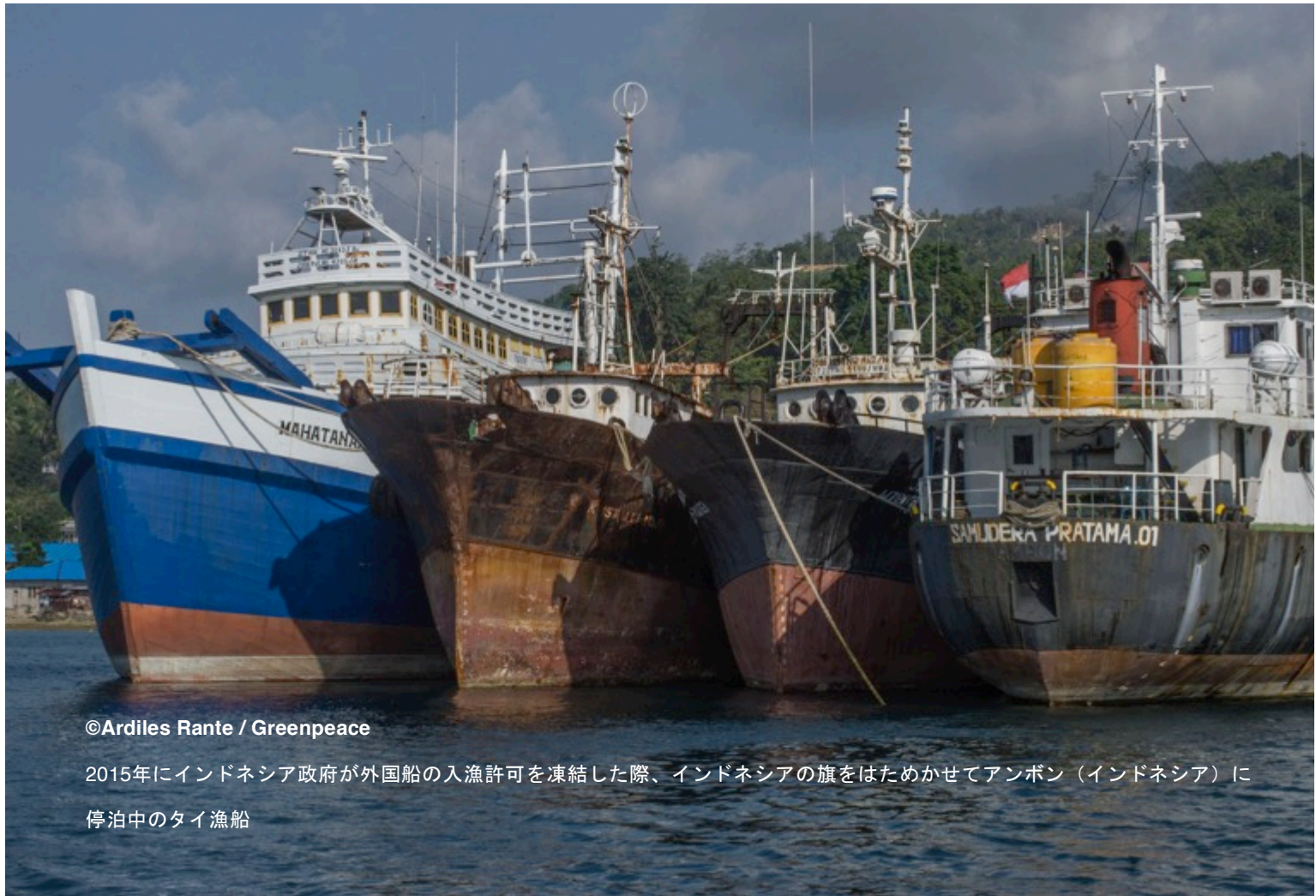
流通・加工の流れ



タイでは、一握りの企業グループが遠洋漁業を支配している。外国政府からの許認可の取得および漁船団と冷蔵船の間で行われる荷物の積み替えの日程調整を行うブローカーの役割を果たすタイ遠洋漁業協会（TOFA）には、30社が加盟しており、計462漁船を所有する。⁷⁶ 外国水域で操業する船は、タイ企業が100%所有しているか、タイ企業と操業する国の企業が合弁契約を結んで操業されている。消耗品（およびタイの特別捜査課の捜査によれば、人身売買された労働者）を漁船に運び、タイの港に水揚げされる魚を回収する冷蔵運搬船を所有しているのは、ほんの一握りの強力企業である。⁷⁷

AP通信社の調査結果で関係が指摘されたシルバーシーライン社、および関連のシルバーシーリーファー社とデクリーファー社は複数の冷蔵船を運航している。この18カ月、これら企業が運航する冷蔵船少なくとも5隻がインドネシアの船から積み替えられる魚をタイ・ユニオンの主なツナ缶工場があるサムットサーコーン県の水産加工拠点に運んでいる。シルバーシー社の冷蔵船を利用している漁船の多くは、インドネシア政府高官の言うところの「実はタイ国籍の企業が所有していることを隠すために設立されたダミー会社」であるPTプサカ・ベンジナ・リソーシズ社とマビル・グループが名目上運航していることになっていた。⁷⁸ 外国船に対するインドネシアの入漁許可交付手続きは「腐敗が急速に進んでいる」と言われている。⁷⁹ AP通信社が追跡調査を行い、1,400人以上の乗組員が当局によって救出された船を運航しているPTプサカ・ベンジナ・リソーシズ社は、「月に2,700米ドルの賄賂を現地当局に払っている」ことを認めている。^{80/81}

インドネシアで人間を悲惨な状態に陥れて調達された魚を回収し、サムットサーコーン県（回収された魚はここでタイの輸出中心の水産食品業界のサプライチェーンに入る）に降ろすシルバーシー社の冷蔵船はシルバーシーライン号だけではない。マルク州での漁業をめぐる審査と規制が強化されたのを受けて、虐待被害者を乗せたPTプサカ・ベンジナ・リソーシズ社の船団は、前の船名と登録番号を新しい船名と登録番号で隠し、パプアニューギニアの旗を違法にはためかせてパプアニューギニアの水域へと逃げた。⁸² それまでアンボン島から運航していた冷蔵船シルバーシー2号もその後を追い、パプアニューギニアの海峡（通称「Dog Leg」）の真ん中で消耗品と魚の積み替えを行っていたが、2015年8月、復路でインドネシア当局に拿捕されている。⁸³



©Ardiles Rante / Greenpeace

2015年にインドネシア政府が外国船の入漁許可を凍結した際、インドネシアの旗をはためかせてアンボン（インドネシア）に停泊中のタイ漁船

KYAW MOE THUの物語

2015年9月、グリーンピースはインドネシアのアンボン島で乗組員を対象にした聞き取り調査から、シルバーシー社のもう一隻の冷蔵船、マリンワン号の存在が浮上した。同船は、人身売買と強制・拘束労働によって獲られたマグロを含む海産魚をタイの輸出向けの主要水産加工拠点到運んでいる。

Kyaw Moe Thu⁸⁴はインドネシアのヤンゴン地区出身の35歳。ヤンゴンの蒸留工場で働いていた時にSoe Naingに会った。Soe Naingは「タイで仕事したらいくら稼げるか」を話して聞かせ、「旅費は自分が持つ」と言った。2003年11月、Kyaw Moe Thuはミャンマーとタイの国境にあるミャワディに着き、タイのメーソート郡に連れていかれた。そこでSoe NaingはKyaw Moe Thuを別のブローカーに引き渡し、Kyaw Moe Thuはそのブローカーから「勤務先は水産物缶詰工場」と告げられた。

彼らは森の中を3日間歩いてカンペンペット郡にあるサトウキビプランテーションまで行き、そこでKyaw Moe Thuはタイ女性に引き渡され、その女性が、Kyaw Moe Thuの言うところの「警察所有」の家連れて行った。そして、そこから他の10人と一緒に警察車両に乗せられてタイのサムットサーコーン県にある主要水産食品拠点に行ったという。

Kyaw Moe Thuはサムットサーコーン県のブローカーの敷地にある鍵付きの部屋に、ナイフと銃を持った3人の男の監視下で1カ月閉じ込められていた。ここで彼は「自分はインドネシアの漁船労働者として売られた」と悟った。ブローカーのAh Naingは被害者に「船は労働条件が良い」と話し、「マルボロのような高級ブランドのたばこだって吸える」と約束していた。Kyaw Moe Thuは行きたくはなかったが、逃亡は不可能だった。敷地から出ようとした者は殴られた。インドネシア水域に向けて出航する冷蔵船に乗る前、ブローカーはカメラマンを連れて来て男たちの写真を撮った。

「写真は船員手帳用のもの」という説明だった。Ah Naingは「4カ月も働けば借金は返せる」と言っていた。それから10年Kyaw Moe Thuはインドネシアの2隻の漁船で働いたが給料をもらったことはない。2004年、刺し網漁船Wijaya 29号で働くためにアンボンに着くと、そこにはタイの別のブローカーの支配下にあるミャンマー人の男が10人もいた。この船でのマグロその他の漁のサイクルは1日22時間勤務という過酷なもので、人身売買され虐待された漁師は網を張り、冷凍魚のブロックを整頓し、修繕を行った。Kyaw Moe Thuは、「他の乗組員と比べて仕事が遅い」、または「一生懸命仕事をしない」という理由で殴られたり虐待されたりした。それから間もなく、タニンバル諸島サムラキで船長に置き去りにされ、その後トロール船マハタン・アルジャヤ12号に再び売られた。

2013年、サムットサーコーン県に戻り、そこでマハタン・アルジャヤ12号の船主と思われる人物に会った。船主はKyaw Moe Thuの給与のことには触れず、即座に彼をアンボンの輸送船マリンワン号に戻した。2015年5月、マハタン・アルジャヤ12号の船長がタイ語で書かれた書類を出して署名を迫った。船長は書類の内容について説明しなかったが、「前年の給料合計約1,300ドルをもらうのに署名が必要」という話だった。その時、Kyaw Moe Thuは、「受け取るべき給与を全額受け取った」、「船上で酷使されたことはない」、「人身売買や強制・拘束労働の被害者ではない」と記された書類に、そうとは知らずに署名をしていたのだった。2015年9月現在、Kyaw Moe Thuは、マハタン・アルジャヤ12号で働いた7年8カ月に対して支払われるべき賃金をまだ受け取っていない。

ブローカーは私たちのことを「サッカー・ボール」と言っていた。つまり、私たちはブローカーの足の下にあり、どこでも蹴ることができ、自分ではどこにも行けないということ。

冷蔵船が出航する4~5日前に、今でも漁船にいる友人6人と逃亡を試みたが失敗に終わった。私たちは殴られ、その後食事をすることさえ許されなかった。

ウィジャヤ29号の船上では、他の乗組員よりも体力がなく、「他の乗組員が運べる魚の冷凍ブロックを運べない」という理由で殴られた。自分は体力もなく、動作も遅かったので仕事が終わらなかった。それがその船で自分が殴られた理由だった。

私たちはインドネシア当局の担当官と海で会った。彼らは船に近づいて無線で船長と話をし、「誰が責任者か」、「船主はどここの会社か」と訊いただけだった。その後、担当官が去ると、「担当官にどれほどいくら支払ったか」を知らせる電話が会社の事務所から船長にきた。その後、担当官に煩わされることは二度となく、海のどこでも漁ができた。

- Kyaw Moe Thu (人身売買と強制労働の被害者)

私たちは部屋から出ることが許されなかった。
1人が逃亡を試みたが、その男は殴られた。
もう一人の男は片足が折れるまで殴られた。
だから私たちは絶対に逃亡なんてしなかった。
私たちのグループは13人。
片足を折られた男は、逃げたいと思う男たちへの見せしめだった。
逃げようとするなんてとんでもないことだった。

サムットサーコーン県で殴られた男たちも船に送られてきた。
この男たちは船がアンボンの港に着くと再び逃亡を試みた。
船長は警察の力を借りて男たちを捕まえ、警察は男たちを刑務所送りにした。彼らが強制送還されたかどうかは知らない。

雨が降ったときだけはいつもまともにシャワーを浴びることができた。

船長を相手取って訴訟を起こせたら法廷で対峙したい。

私たちミャンマー人に対するタイ人の扱いはひどかった。
十分に食べさせてくれることはなかった。
与えられる食事は少なく、足りなかった。
食事をしているときですら、
彼らは私たちを怒鳴りつけ、罵り、仕事へと追い立てた。

十分に食べられることはない。
あそこでの生活は苛酷を極め、失望のどん底だった。

-Min Min Thein (人身売買と強制労働の被害者)

MIN MIN THEINの物語

Min Min Thein⁸⁵は、ミャワディ、ダウェイ、カーンチャナブリー県、サムットサーコーン県で事業を行っているミャンマーの7つのブローカーを渡ってサムットサーコーン県に連れてこられた。ミャワディで移動中に、「建設労働者としてバンコクで仕事に就く」という話をされた。しかし、サムットサーコーン県に着くと他の13人とともに港にある部屋に閉じ込められた。部屋はブローカーが監視していた。話し合っただけで逃亡を企てる者もいたが、ブローカーに酷く殴られ、それを境に誰も文句を言わなくなった。約1週間強制監禁された後、男たちはインドネシアに向かう船に乗せられた。

Min Min Theinはマグロ漁と鮫漁が中心の刺し網船アルミナ・プサカ718号で最終的に1日20時間15カ月働いた。船は、サメは幼魚も成魚も水揚げしたが、小さいマグロが揚がると廃棄した。アンボン港には3カ月に1回寄港し、そこで乗組員が船の積み荷を冷蔵船マリンワン号に移す。船長が「賃金は1月252米ドル」と約束していたにもかかわらず、Min Min Theinはアルミナ・プサカ718号で働いていた15カ月の間賃金を1銭も受け取っていない。2015年3月、タイ語で書かれた書類に署名をするよう船長から言われた。Min Min Theinはタイ語が分からず、内容についての説明もなく、「飛行機で送還されること」そして「アルミナ・プサカ718号の船長が約束してくれた賃金の約40%に相当する1,489米ドルが支払われること」を知らされた。



©Ardiles Rante / Greenpeace
2015年にインドネシア政府が外国船の入漁許可を凍結した際、インドネシア、マルク州アンボンに停泊中の外国漁船

03

結論

タイ・ユニオンは、「労働と人権に関して定めた自社の行動規範が自社のサプライチェーンで遵守されている」ことを立証する必要がある。^{86/87} 2015年9月下旬、タイ・ユニオンは、2013年に導入された旧版を改訂し、それに代わる新しい企業倫理と労働行動規範を発表した。^{88/89} 新しい行動規範はすべての仕入先に対して拘束力のあるものだが、タイ・ユニオンの広大なサプライチェーンに対応するものではなく、魚や原材料をタイ・ユニオンの仕入先に供給している船上の人権問題をただちに対処していない。船の行動規範は2015年末までに出される予定である。⁹⁰

新しい行動規範は、人身売買などの労働問題に対応するために講じられるいくつかの対策の一つにすぎないことをタイ・ユニオンは強調している。⁹¹ その最たるものが企業と非政府組織（NGO）のタスクフォース提携への参加であり、その連携を通じてエビの飼料のサプライチェーンについて幅広い社会監査を行っている。⁹² これらの監査では、副産物（切れ端など）をエビ飼料工場に供給するマグロ事業も対象になっているが、タイ・ユニオンは「マグロのサプライチェーン全体の人権侵害リスクに取り組む」という明白なコミットメントを現在まで出していない。タイ・ユニオンは、「タイの旗を付けた漁船から調達している水産食品は4%に満たない」と主張しているが、グリーンピースが集めた証言から、人権侵害は太平洋のマグロ船団に広がっているようである。^{93/94} もっと川下まで追跡可能とし、タイ・ユニオンのサプライチェーンにある人権侵害を明らかにし解決する取り組みは、その対象範囲を世界に広げ、タイの漁業のみを注視するのではなく、サプライチェーンの残りの96%も対象としなければならない。

2015年9月、タイ・ユニオンは、海上での積み替えを禁止する新しいポリシーに対するコミットメントを採択した。これは、AP通信社の調査、ならびに「タイ・ユニオンの全額出資子会社の1つSongkla Canning PLCを名指ししている人身売買と強制労働に関するニューヨークタイムズの記事」に対応してのことと思われる。⁹⁵ 海上での積み替え行為は、違法に漁獲した魚のロンダリングを可能にするだけでなく、船が海に無期限に出でられるようになるため、虐待された漁師を悪徳船舶運航者が孤立させ、搾取のサイクルに閉じ込めておけることから人権侵害のリスクが大きい。タイ・ユニオンの新しいポリシーには、「2015年4月現在、タイ・ユニオンはタイの領海にある母船や積み替え船からの買い入れを全面的に中止している」と記されている。⁹⁶ このポリシーでは、「タイ・ユニオンの仕入先も同じよう

に海で積み替える船からの買い入れを中止しなければならないのか」や「公海またはタイその他の国の排他的経済水域内で積み替えられた海産魚をタイの港に水揚げする船に対する拘束力がこのコミットメントにあるのかどうか」がはっきりしていない。

タイ・ユニオンは「安価な魚を大量に求める飽くことのない要求は、環境への保障や社会的公正を犠牲にして実現するものではない」ことを確かなものにする必要がある。また、現・旧仕入先と協力し、インドネシアの島に今でも足止めされている数百人の漁師、およびそのほかの未だに行方不明となっている数千人が帰国し、故郷の地域社会に再び復帰するために必要な支援が欠けることのないようにしなければならない。



©Ardiles Rante / Greenpeace

ミャンマー出身のKyaw Moe Thuと彼をインドネシアに連れ戻す際に使われた冷蔵船マリンワン号

大勢が、自分の受けた虐待に対する賠償を要求している。また、今年、インドネシアによる外国船の入漁許可の交付・更新の凍結の終了後、タイ・ユニオンは、同社の事業に使用される魚が法に則った漁業に由来するものであることを確実にしなければならない。食卓から漁網までのトレーサビリティは環境と社会に対する責任を強化する。虐待がなく、環境破壊に関与していないことを確認する意味で、「スーパーマーケットの店頭にある水産食品に対し、世界で実際に獲っている漁船の可視化を確立する」ことをタイ・ユニオンの第一の優先事項とすべきだろう。影響力の大きいメディア報道により、私たちの食する水産食品のために、漁を強制されている男たちの現実に消費者がますます向き合うようになっており、タイ・ユ

ニオンなどの世界的大企業は緊急に対策を講じ、自社のサプライチェーンから確実に虐待をなくすために講じている措置を顧客に証明する必要がある。先日、「マース社は、強制労働で得られた材料から作ったペットフードと知りながら販売した」と主張してネスレ社とマース社を相手取って起こされた集団訴訟でタイ・ユニオンが名指しされた。⁹⁷ 2015年9月には、タイ・ユニオンの米国子会社、トライ・ユニオン・シーフードならびにツナのトップブランド、チキンオブザシーの生産者を相手取った3件目の訴訟が起こされている。⁹⁸

サプライチェーンに問題がある水産会社はタイ・ユニオンだけではないが、タイ・ユニオンはその全世界的な広がりと影響力を駆使し、市場においてリーダーシップを発揮し、「川上業務でのソーシャルコンプライアンス確保の前進を基本とし、良い変化を船レベルにまで行き届かせる」ことを示すべきである。^{99/100} こうした問題に取り組むことは、業界にとって倫理的に必須であるだけでなく、優れたビジネスでもある。ある調査では消費者の88%が「人権侵害に関連している水産食品は買うのをやめる」、70%が「値段が高くても人権侵害がないことをはっきりと証明できる商品を買う」と答えている。¹⁰¹ タイ・ユニオンには、環境面で持続可能であり、かつ人権侵害のない水産食品を求める世界中のステークホルダーから寄せられる差し迫った声に応える購買力と影響力がある。今こそ行動の時である。

04 提言

世界最大のツナ会社であるタイ・ユニオンは、社会・環境関連のコンプライアンス強化に向けてマグロ産業全体を主導するとともに、自社のサプライチェーンにおける強制労働を解消し、破壊的で持続不可能な漁業を止めさせる措置を即刻講じなければならない。タイ・ユニオンが行うべき優先事項は以下の通り。



1. 強制労働や人権侵害がある漁業者からは調達しないことを約束し、第三者が監査した書類でそのことを立証する。



3. サメの捕獲やフカヒレ漁が今でも行われている地域、または大規模の混獲が行われている破格的かつ廃棄物の多い延縄漁を行なっている漁業者からの調達を中止する。



2. 海での積み替えを中止および段階的に廃止することを約束する。



4. 人工集魚装置（FAD）付きの破壊的なまき網を装備している漁業者、およびFADの規則や規制がないに等しい漁業者からの調達を中止する。

グリーンピースは、タイ・ユニオンに対し、これらの変化にコミットする方針の発表以上の取り組みを要請している。タイ・ユニオンは、サプライチェーンにこれらの変化をどうもたらすかを明らかにする計画表および明確なマイルストーンを用意せねばならない。そうすることによって、企業の進捗状況を効果的に管理することができる。

タイ・ユニオンのサプライチェーンにおける問題点やグリーンピースの要請の詳細については、下記のウェブサイトをご参照ください。

tuna.greenpeace.org

1. Yahoo News (2015) AP Investigation: Are slaves catching the fish you buy?
<http://news.yahoo.com/ap-investigation-slaves-catching-fish-buy-011905896--finance.html>
2. New York Times (2015) 'Sea Slaves': The human misery that feeds pets and livestock
<http://www.nytimes.com/2015/07/27/world/outlaw-ocean-thailand-fishing-sea-slaves-pets.html>
3. Undercurrent News (2015) Thai Union drops supplier on evidence of slavery in supply chain
<http://www.undercurrentnews.com/2015/03/25/thai-union-drops-supplier-on-evidence-of-slavery-in-supply-chain/>
4. Thai Union (2015) Thai Union Business Ethics and Labour Code of Conduct
http://www.thaiunion.com/src/misc/documents/sustain-policy/Thai%20Union_Code%20of%20Conduct_Eng%20Version.pdf#zoom=50
5. World Fishing & Aquaculture (2015) Thai Union labour code of conduct
<http://www.worldfishing.net/news101/industry-news/thai-union-labour-code-of-conduct>
6. Shrimp Sustainable Supply Chain Task Force (2015) Overview and Progress Update – May 2015
http://js.undercurrentnews.com/wp-content/uploads/2015/05/SSSC-Task-Force_Overview-and-Progress_May-2015_Short_Master_180515-11.pdf
7. Thai Union Group (2015) Policy Commitment to Ban Transshipment at Sea
http://www.thaiunion.com/src/misc/documents/sustain-policy/THAI%20UNION_TRANSSHIPMENT%20POLICY_Sept%202015.pdf
8. Hagens Berman Sobol Shabiro LLP (2015) Cat food slave labour
<http://www.hbsslaw.com/cases-and-investigations/cases/Nestl%C3%A9-and-Mars-Cat-Food-Slave-Labor>
9. De Rosa et al v Tri-Union Seafoods, US District Court, Central district of California, Southern division, case 2:15-cv-07540
10. Yahoo News (2015) AP Investigation: Are slaves catching the fish you buy?
<http://news.yahoo.com/ap-investigation-slaves-catching-fish-buy-011905896--finance.html>
11. New York Times (2015) The Outlaw Ocean
<http://www.nytimes.com/interactive/2015/07/24/world/the-outlaw-ocean.html?r=0>
12. The Guardian (2014) Revealed: Asian slave labour producing prawns for supermarkets in US, UK
<http://www.theguardian.com/global-development/2014/jun/10/supermarket-prawns-thailand-produced-slave-labour>
13. Yahoo News (2015) AP Investigation: Are slaves catching the fish you buy?
<http://news.yahoo.com/ap-investigation-slaves-catching-fish-buy-011905896--finance.html>
14. New York Times (2015) 'Sea Slaves': The human misery that feeds pets and livestock
<http://www.nytimes.com/2015/07/27/world/outlaw-ocean-thailand-fishing-sea-slaves-pets.html>
15. International Labour Organization (ILO) (2013) Caught at Sea: Forced Labour and Trafficking in Fisheries
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---ed_norm/---declaration/documents/publication/wcms_214472.pdf
16. United Nations Office on Drugs and Crime (UNODC) (2011) Transnational Organized Crime in the Fishing Industry
http://www.unodc.org/documents/human-trafficking/Issue_Paper_-_TOC_in_the_Fishing_Industry.pdf
17. Environmental Justice Foundation (EJF) (2015) Pirates and Slaves: How overfishing in Thailand fuels human trafficking and the plundering of our oceans
http://ejffoundation.org/sites/default/files/public/EJF_Pirates_and_Slaves_2015.pdf
18. Food and Agriculture Organization. Global Capture Production 1950-2013.
<http://www.fao.org/fishery/statistics/global-capture-production/query/en>

19. Food and Agriculture Organization (FAO) (2014) The State of World Fisheries and Agriculture 2014
<http://www.fao.org/3/a-i3720e.pdf>
20. Pew International Trusts (2012) Fact Sheet: Global Tuna Fishing
<http://www.pewtrusts.org/en/research-and-analysis/fact-sheets/2012/06/21/global-tuna-fishing>
21. Greenpeace (2015) These are the videos the tuna industry doesn't want you to see
<http://www.greenpeace.org/usa/these-are-the-videos-the-tuna-industry-doesnt-want-you-to-see/>
22. World Fishing & Aquaculture (2014) The future of tuna
<http://www.worldfishing.net/news101/regional-focus/the-future-of-tuna2>
23. Undercurrent News (2015) World's 100 Largest Seafood Companies 2014
24. Thai Union Group (2014) 3Q2014 Results Presentation, 14 November 2014
<http://TU.listedcompany.com/misc/PRESN/20141113-TU-results-presentation-3q2014-02.pdf>
25. "Transnational Corporations as 'Keystone Actors' in Marine Ecosystems" by Henrik Osterblom, Plos One, May 2015
26. TRIS Rating (2011) Credit News 756, Thai Union Frozen Products Public Company Limited
http://tuf.listedcompany.com/misc/credit_rating/TRIS_rating_Jan2011.pdf
27. Thai Union Group (2015) Annual Report, 2014
<http://tu.listedcompany.com/misc/ar/20150318-tuf-ar2014-en.pdf>
28. "Transnational Corporations as 'Keystone Actors' in Marine Ecosystems" by Henrik Osterblom, Plos One, May 2015
29. Thai Union Group (2015) Annual Report, 2014
<http://tu.listedcompany.com/misc/ar/20150318-tuf-ar2014-en.pdf>
30. Undercurrent, World's 100 Largest Seafood Companies 2014
31. Nikkei Asian Review (2015) Thirapong is taking his tuna kingdom global
<http://asia.nikkei.com/Business/Companies/Thirapong-is-taking-his-tuna-kingdom-global>
32. Wall Street Journal (2015) Bumble Bee to merge with Chicken of the Sea
<http://www.wsj.com/articles/thai-union-seafood-company-to-buy-bumble-bee-1418958046>
33. Undercurrent News (2015) Thai Union faces tough antitrust review for Bumble Bee deal
<http://www.undercurrentnews.com/2015/02/25/thai-union-faces-tough-antitrust-review-for-bumble-bee-deal/>
34. Thai Union Group PLC, Annual Report 2014, p. 22-3
35. Verité (2012) Research on indicators of forced labour in the supply chain of tuna in the Philippines
http://www.verite.org/sites/default/files/images/Research%20on%20Indicators%20of%20Forced%20Labor%20in%20the%20Philippines%20Tuna%20Sector__9.16.pdf
36. International Labour Organization (ILO) (2013) Employment practices and working conditions in Thailand's fishing sector
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_220596.pdf
37. Verité (2012) Research on indicators of forced labour in the supply chain of tuna in the Philippines
http://www.verite.org/sites/default/files/images/Research%20on%20Indicators%20of%20Forced%20Labor%20in%20the%20Philippines%20Tuna%20Sector__9.16.pdf
38. Stuff (2013) Indonesian fishermen claim exploitation
<http://www.stuff.co.nz/business/farming/9432480/Indonesian-fishermen-claim-exploitation>
39. Food and Agriculture Organization (FAO) & International Labour Organization (ILO) (2013) Guidance on addressing child labour in fisheries and aquaculture
<http://www.fao.org/docrep/018/i3318e/i3318e.pdf>
40. International Labour Rights Forum (ILRF) (2013) Briefing Paper: The Walmart Effect, Child and Worker Rights Violations at Narong Seafood, Thailand's Model Shrimp Processing Factory
http://www.laborrights.org/sites/default/files/publications-and-resources/Narong%20Shrimp%20Report_0.pdf

41. Environmental Justice Foundation (EJF) (2013) The Hidden Cost: Human Rights Abuses in Thailand's Shrimp Industry
http://ejfoundation.org/sites/default/files/public/shrimp_report_v44_lower_resolution.pdf
42. Fairfood International (2015) Caught in a Trap: The story of poverty wages behind Asian shrimp sold in European markets
<http://www.fairfood.org/wp-content/uploads/2015/04/Caught-in-a-trap.pdf>
43. Irrawaddy (2015) 60 Burmese migrants freed from slave-like conditions in Thailand: Rights group
<http://www.irrawaddy.org/burma/60-burmese-migrants-freed-from-slave-like-conditions-in-thailand-rights-group.html>
44. International Labour Organization (ILO) (2006) The Mekong Challenge. Underpaid, Overworked and Overlooked: The realities of young migrant workers in Thailand
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_bk_pb_67_en.pdf
45. Labour Rights Promotion Network (LPN) & John Hopkins Bloomberg School of Public Health (2011) Estimating Labour Trafficking: A Study of Burmese Migrant Workers in Samut Sakhon, Thailand
http://www.no-trafficking.org/reports_docs/estimates/uniap_estimating_labor_trafficking_report.pdf
46. The Asia Foundation & International Labour Organization (ILO) (2015) Migrant and Child Labour in Thailand's Shrimp and Other Seafood Supply Chains
<https://asiafoundation.org/resources/pdfs/MigrantChildLaborinThailandShrimpandOtherSeafoodSupplyChains.pdf>
47. International Labour Organization (ILO) (2006) The Mekong Challenge. Underpaid, Overworked and Overlooked: The realities of young migrant workers in Thailand
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_bk_pb_67_en.pdf
48. International Labour Organization (ILO) (2013) Employment practices and working conditions in Thailand's fishing sector
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_220596.pdf
49. Zimmerman, C. et al (2014) Health and human trafficking in the Greater Mekong Subregion. Findings from a survey of men women and children in Cambodia, Thailand and Viet Nam
http://publications.iom.int/system/files/pdf/steam_report_mekong.pdf
50. Environmental Justice Foundation (EJF) (2015) Pirates and Slaves: How overfishing in Thailand fuels human trafficking and the plundering of our oceans
http://ejfoundation.org/sites/default/files/public/EJF_Pirates_and_Slaves_2015.pdf
51. Boonchuwongse, P. & Dechboon, W. (2003) 'Socioeconomic Assessment of Marine Fisheries of Thailand'
52. Ahmed, M. et al (2007) 'Overfishing in the Gulf of Thailand: policy challenges and bioeconomic analysis' Environment and Development Economics 12: 145-72
53. Environmental Justice Foundation (EJF) (2015) Pirates and Slaves: How overfishing in Thailand fuels human trafficking and the plundering of our oceans
http://ejfoundation.org/sites/default/files/public/EJF_Pirates_and_Slaves_2015.pdf
54. Food and Agriculture Organisation (2009) Fishery and Aquaculture Country Profiles: Thailand
55. Prachachat (2014) http://www.prachachat.net/news_detail.php?newsid=1405066089
56. International Labour Organization (ILO) (2013) Employment practices and working conditions in Thailand's fishing sector
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_220596.pdf
57. Mirror Foundation (2011) Trafficking and Forced Labour of Thai Males in Deep-Sea Fishing
58. Mirror Foundation (2011) Trafficking and Forced Labour of Thai Males in Deep-Sea Fishing
59. Vasuprasat, P. (2010) Agenda for labour migration policy in Thailand: Towards long-term competitiveness
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/---sro-bangkok/documents/publication/wcms_145130.pdf

60. International Labour Organization (ILO) (2013) Employment practices and working conditions in Thailand's fishing sector
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_220596.pdf
61. International Labour Organization (ILO) (2013) Employment practices and working conditions in Thailand's fishing sector
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_220596.pdf
62. Environmental Justice Foundation (EJF) (2015) Pirates and Slaves: How overfishing in Thailand fuels human trafficking and the plundering of our oceans
http://ejfoundation.org/sites/default/files/public/EJF_Pirates_and_Slaves_2015.pdf
63. Mirror Foundation (2011) Trafficking and Forced Labour of Thai Males in Deep-Sea Fishing
64. International Organization for Migration (IOM) (2011) Trafficking of Fishermen in Thailand
<http://publications.iom.int/book-store/free/TraffickingofFishermenThailand.pdf>
65. Thai Rath (2014) <http://www.thairath.co.th/content/443554>
66. International Organization for Migration (IOM) (2011) Trafficking of Fishermen in Thailand
<http://publications.iom.int/book-store/free/TraffickingofFishermenThailand.pdf>
67. Murphy, D. (2015) Ghost Fleets and Invisible Men: From slavery to statelessness
<http://www.contributoria.com/issue/2015-07/554639d15a79868b28000ecf/>
68. Al Jazeera (2008) Murder at Sea
<http://www.aljazeera.com/programmes/general/2008/08/200882714583923494.html>
69. International Labour Organization (ILO) (2013) Employment practices and working conditions in Thailand's fishing sector
http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_220596.pdf
70. Zimmerman, C. et al (2014) Health and human trafficking in the Greater Mekong Subregion. Findings from a survey of men women and children in Cambodia, Thailand and Viet Nam
http://publications.iom.int/system/files/pdf/steam_report_mekong.pdf
71. Thai Rath (2014) <http://www.thairath.co.th/clip/5153>
72. Yahoo News (2015) AP Investigation: Are slaves catching the fish you buy?
<http://news.yahoo.com/ap-investigation-slaves-catching-fish-buy-011905896--finance.html>
73. Oral communication with International Organization of Migration (IOM) field staff, September 2015
74. Ministry of Marine Affairs and Fisheries (MMAF), Indonesia (November, 2014)
75. Undercurrent News (2015) Thai Union drops supplier on evidence of slavery in supply chain
<http://www.undercurrentnews.com/2015/03/25/thai-union-drops-supplier-on-evidence-of-slavery-in-supply-chain/>
76. Thai Franchise Center (2014) <http://www.thaifranchisecenter.com/links/show.php?id=1209>
77. Department of Special Investigations, Thailand (2015) VDO
<http://www.dsi.go.th/view.aspx?tid=T0000706>
78. Channel News Asia (2015) Indonesia forms team to probe fishing slavery allegations
<http://www.channelnewsasia.com/news/asiapacific/indonesia-forms-team-to/1772598.html>
79. Southeast Asian Press Alliance (SEAPA) (2010) Something fishy in Sumatra
<http://www.seapa.org/?p=3180>
80. The Jakarta Post (2015) Police have 20 possible suspects in Benjina
<http://www.thejakartapost.com/news/2015/05/09/police-have-20-possible-suspects-benjina.html>
81. Tempo (2015) Pusaka Benjina admits to bribing Govt officials
<http://en.tempco.co/read/news/2015/04/06/056655625/Pusa-ka-Benjina-Admits-Bribing-Govt-Officials>

82. Associated Press (AP) (2015) AP Exclusive: AP tracks slave boats to Papua New Guinea
<http://www.voanews.com/content/ap-indonesia-navy-nabs-cargo-ship-loaded-with-slave-caught-fish/2916369.html>
83. Voice of America (VOA) Indonesia Navy grabs cargo ship loaded with slave-caught fish
<http://www.voanews.com/content/ap-indonesia-navy-nabs-cargo-ship-loaded-with-slave-caught-fish/2916369.html>
84. Alias
85. Alias
86. New York Times (2015) 'Sea Slaves': The human misery that feeds pets and livestock
<http://www.nytimes.com/2015/07/27/world/outlaw-ocean-thailand-fishing-sea-slaves-pets.html>
87. Yahoo News (2015) AP Investigation: Are slaves catching the fish you buy?
<http://news.yahoo.com/ap-investigation-slaves-catching-fish-buy-011905896--finance.html>
88. Thai Union Group (2015) Thai Union Business Ethics and Labour Code of Conduct
http://www.thaiunion.com/src/misc/documents/sustain-policy/Thai%20Union_Code%20of%20Conduct_Eng%20Version.pdf#zoom=50
89. Yahoo News (2015) AP Investigation: Are slaves catching the fish you buy?
<http://www.worldfishing.net/news101/industry-news/thai-union-labour-code-of-conduct>
90. Thai Union Group (2015) Thai Union Vessel Code of Conduct
<http://www.thaiunion.com/en/sustain/sustainability-commitment.ashx>
91. Thai Union Group (2015) Thai Union introduces new Business Ethics and Labour Code of Conduct
<http://tuf.listedcompany.com/news.html/id/490441>
92. Shrimp Sustainable Supply Chain Task Force (2015) Overview and Progress Update – May 2015
http://js.undercurrentnews.com/wp-content/uploads/2015/05/SSSC-Task-Force_Overview-and-Progress_May-2015_Short_Master_180515-11.pdf
93. Greenpeace USA (2015) These are the videos the tuna industry doesn't want you to see
<http://www.greenpeace.org/usa/these-are-the-videos-the-tuna-industry-doesnt-want-you-to-see/>
94. Reuters (2015) Thai TUF: No impact on operations from EU warning to Thailand on illegal fishing
<http://www.reuters.com/article/2015/04/22/thailand-eu-tuf-idUSL4N0XJ36U20150422>
95. New York Times (2015) 'Sea Slaves': The human misery that feeds pets and livestock
<http://www.nytimes.com/2015/07/27/world/outlaw-ocean-thailand-fishing-sea-slaves-pets.html>
96. Thai Union Group (2015) Policy Commitment to Ban Transshipment at Sea
http://www.thaiunion.com/src/misc/documents/sustain-policy/THAI%20UNION_TRANSSHIPMENT%20POLICY_Sept%202015.pdf
97. Hagens Berman Sobol Shabiro LLP (2015) Cat food slave labour
<http://www.hbsslaw.com/cases-and-investigations/cases/Nestl%C3%A9-and-Mars-Cat-Food-Slave-Labor>
98. De Rosa et al v Tri-Union Seafoods, US District Court, Central district of California, Southern division, case 2:15-cv-07540
99. Undercurrent News (2015) Thai Union partners with migrant workers' rights group
<http://www.undercurrentnews.com/2015/10/08/thai-union-partners-with-migrant-workers-rights-group/>
100. The Nation (2013) Thai Union Frozen Products joins ILO's Good Labour Practices programme
<http://www.nationmultimedia.com/business/Thai-Union-Frozen-Products-joins-ILOs-Good-Labour--30214961.html>
101. FishWise (2014) Trafficked II: An updated summary of human rights abuses in the seafood industry
[http://www.oceanfdn.org/sites/default/files/Trafficked_II_FishWise_2014%\(1\).compressed.pdf](http://www.oceanfdn.org/sites/default/files/Trafficked_II_FishWise_2014%(1).compressed.pdf)



©Ardiles Rante / Greenpeace

アンボン（インドネシア）で一本釣りでとったマグロ。環境破壊が最も少なく、既存地域に直接利する

原題：Supply Chained Human Rights Abuses In The Global Tuna Industry

発行：国際環境NGOグリーンピース・東南アジア 2015年11月

日本語版制作・発行：国際環境NGOグリーンピース・ジャパン

日本語版発行：2016年11月

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-13-11 NFビル 2F

Tel. 03-5338-9800 Fax. 03-5338-9817

グリーンピースは環境保護と平和を願う市民の立場で活動する国際環境NGOです。

問題意識を共有し、社会を共に変えるため、政府や企業から資金援助を受けずに

独立したキャンペーン活動をしています。

GREENPEACE

WWW.greenpeace.org/japan